

# つなげたい 平和への願い

3月1日は枚方市平和の日

市は3月1日を「枚方市平和の日」と定め、毎年3月に「平和の燈火」や「平和フォーラム」などの平和の日記念事業を開催しています。戦争による悲劇を風化させないため、平和について改めて考えてみませんか。

問人権政策課☎841・1259、㈹841・1700

## 忘れない3月1日 禁野火薬庫の大爆発

戦前の枚方は、砲弾などを格納する禁野火薬庫や、それらを製造する枚方製造所、香里製造所などがある「軍需のまち」でした。昭和14年3月1日午後2時45分、禁野火薬庫で解体していた砲弾が発火し爆発。次々と火薬に引火し、29回の爆発を繰り返しました。火災は約3日間続き、死傷者約700人、被災世帯は4400世帯を超える、市最大の戦争被害となりました。また、昭和29年には同じ3月1日に第五福竜丸がビキニ環礁で米軍の水爆実験により被ばく。これらのことがから、市は平成元年に3月1日を市民一人一人が平和を願う日として「枚方市平和の日」に制定し、毎年この時期に平和記念事業を開催しています。



▲爆発で崩れた禁野火薬庫倉庫（橋寺七郎撮影、市文化財課市史資料室提供）



あかり  
**平和の燈火**

3月1日(日) (雨天時は2日(月)に順延)

ニッペパーク岡東中央

◆パネル展示・アートブース・VR体験

・ペットボトルキャップの回収=午後3時~5時

◆キャンドル点灯=午後5時30分~7時30分

平和の願いを込め、市内の小中学生が作成したキャンドルカップなど約3000個に市民の皆さんと火を灯します。大学生などが作成した立体造形物(右上写真)や参加者で作るペットボトルキャップアート、弾き語り演奏や絵本の朗読のほか、広島市から借用したVRゴーグルで原爆被害などを疑似体験できるコーナーも。



◀令和6年度実施時の日常の街並みをテーマにした立体造形物



関西外国語大学4回生  
藤島凌雅さん

市平和の燈火実行委員会委員長

平和とは何か、人それぞれ感じることは違うのではないでしょうか。だからこそ一人一人が考え、伝え合うことが大切だと思っています。「平和の燈火」が考えるきっかけになるよう準備を進めていますので、ぜひお越しください！

**禁野火薬庫大爆発パネル展**

2月14日(土)~28日(土)午前9時~午後9時

ステーションヒル枚方5階

生涯学習交流センター 展示スペース

昭和14年の爆発当時の状況など貴重な記録写真のパネルを展示します。



▲禁野火薬庫内部の様子 (武沢惣次郎提供、市文化財課市史資料室提供)



▲爆発後の火薬庫一帯 (橋寺七郎撮影、市文化財課市史資料室提供)

**ひらかた平和フォーラム**

**宮沢和史さん講演会「島唄」に込めた想い】**

2月17日(火)午後6時~8時

総合文化芸術センター本館 関西医大 小ホール

申し込み受け付けは終了しています。  
小ホールホワイエの平和学習ポスター  
と平和新聞は見学できます。

◆小中学生の平和学習発表

蹉跎小学校児童による合唱や、藤阪小学校児童による平和学習の動画上映とともに、小ホールホワイエでは蹉跎小学校児童の平和学習ポスターや東香里中学校生徒の平和新聞を展示します。



**平和について知る**

**平和啓発冊子・枚方市平和(戦争遺跡)ガイド**



枚方の戦争に関する歴史などを掲載した冊子や、市内の戦争遺跡などをまとめたガイドを市役所別館5階人権政策課で無料配布しています。

▶啓発冊子はこちら



**平和資料室 中央図書館1階(車塚1)**

禁野火薬庫爆発当時の様子が分かる写真パネルや軍服・砲弾・軍隊手帳などの戦争資料を常設展示。毎年夏には特別展も開催しています。▶開館時間 午前9時30分~午後7時 (土曜・日曜、祝日は午後5時まで。金曜休館)。無料。